

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年10月25日記入

基本目標	躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	36130
政策名(章)	第6章 高度情報化への対応を図ります	評価担当部	企画部
基本施策名(節名)	第1節 豊かな市民生活を実現する情報化の推進	評価担当課	情報システム課
施策名	行政事務の情報化の推進	課長名	村上裕之

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

行政事務の高度化・効率化に向け、多彩な情報通信技術を活用し、行政事務の情報化を推進する。
 また、情報システムにおける個人情報等の各種情報の適切な管理のため、ソフト・ハードの両面からセキュリティレベルの向上を図るとともに、効率かつ安定的な市民サービスの提供が維持できるよう、情報通信ネットワークの安全性の確保、電子計算組織(ホストコンピュータ・オンライン端末等)及び庁内情報システムの安定稼働に努める。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		1,186,819	主な減要因 ・ホストコンピュータの機器更新及び端末機の機器構成の精査等による賃借料の減 ・職員用PCの新規設置が概ね完了したことに伴う、PC購入費の減 ・システムの安定稼働化に伴う担当人員(人件費)の減 主な増要因 ・財務会計及びコンビニ納付・電子納付等新規システムの開発・運用
人件費		81,305	
市民一人あたりの事業費	2,148	1,901	
合計	1,323,087	1,268,124	

*人件費は、一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

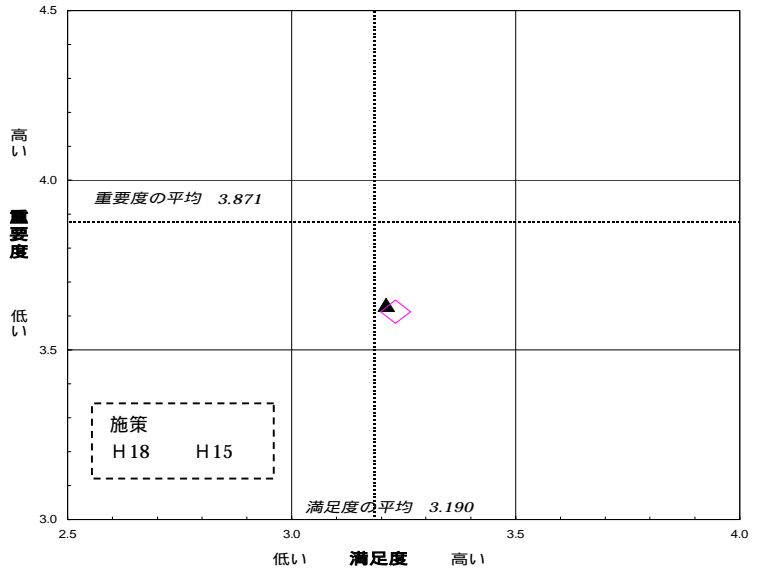
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	ネットワーク(NW)利用可能職員に対するセキュリティ研修受講済職員率(%)	受講者累計 / NW利用可能職員数 × 100 (H16受講者累計:787人 / H16職員数:3,377人)	23.3%	H16
指標2	オンライン安定稼働率(%)	年間安定稼働時間 / 年間提供時間 × 100 (H16安定稼働時間:2,074H / 提供時間:2,074H)	100.0%	-
指標3	セキュリティ事故無発生率(%)	無事故日数 / 365日 × 100 (H16無事故日数:365日 / 365日)	100.0%	-
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	40 / 38	19	70	21	100%	職員のセキュリティ意識向上のため、今後、年間約15%の職員を対象に研修を実施し、最終年度に100%の受講率を目指す。
達成率	94.5					
指標2	100 / 100	19	100%	21	100%	市民サービスの停滞を招かないようオンラインの安定的な提供を図るため、目標値は100%とした。
達成率	99.9					
指標3	100 / 100	19	100%	21	100%	情報漏洩等のセキュリティ事故の発生を皆無とするため、目標値は100%とした。
達成率	100					
指標4		19				
達成率	#DIV/0!					
指標5		19				
達成率	#DIV/0!					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.232で51施策の中で19番目。
 重要度は3.613で39番目である。
 改善要望度は - 0.2121で41番目である。
 年齢別にみると、満足度、重要度ともに70歳以上でもっとも高く、40歳代でもっとも低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度ともに施策の順位に大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、20歳代、70歳以上で前回調査より大幅に上がり、60歳代で大幅に下がっている。
 重要度の順位では、40歳代で大幅に上がり、70歳以上で下がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	1次評価
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	行政事務情報化事業(パソコン等機器の管理・セキュリティ管理)等は、目標を達成しているが、電子計算組織等運用管理事業(オンラインサービスの提供)については、機器の障害により、一時的なサービスの停止を招いた。	B
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	(4)2 1	構成事務事業におけるオンラインや各情報システムは、安定的に稼働し、人員や事業費(運用経費)も削減されていることから、当該施策の効率性は、向上している。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4(2)1	市民サービスを効率的かつ安定的に提供していく上で、不可欠な事業であるが、直接的に市民の目に触れる事業ではないことから、市民満足度調査における注目度は、低い結果となっているものと考えられる。	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	情報セキュリティに対する職員の意識啓発、及び物理的な対策の一層の充実を図る必要がある。
解決策	引き続き、セキュリティポリシーの徹底、情報セキュリティ監査等を実施するとともに、今後は、職員研修の充実、庁内ネットワーク認証機能の強化、オンライン業務を停止させないためのネットワークづくり等を進めていく。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

構成事務事業の優先順位と設定された指標が適合していない。行政の情報化の成果を分かりやすく表す指標設定を今後検討するべきである。 また、構成事務事業の優先順位が施策の実施にあたっての有効性・効率性に寄与しているか疑問であり、構成事務事業の見直しが必要である。	2次評価 B
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

